























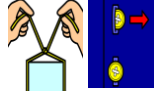









★ 活動 ★

月	火	水	木	金	土
		1 音楽あそび 	2 制作あそび  持ち物: スモック	3 休み 魔法記念の日 	4 休み みどりの日 
6 休み 振替休日 	7 絵画あそび  持ち物: スモック	8 課題あそび 	9 感触あそび  持ち物: スモック	10 音楽あそび 	11 休み 
13 感触あそび  持ち物: スモック	14 運動あそび 	15 絵画あそび  持ち物: スモック	16 屋外あそび  持ち物: 帽子	17 運動あそび  手指あそび 	18 課題あそび 
20 音楽あそび 	21 屋外あそび  持ち物: 帽子	22 感触あそび  持ち物: スモック	23 運動あそび 	24 課題あそび 	25 手指あそび 
27 絵画あそび  持ち物: スモック	28 避難訓練(地震) 音楽あそび 	29 運動あそび  手指あそび 	30 課題あそび 	31 屋外あそび  持ち物: 帽子	

○今月の活動

制作あそび

はさみやシール、花紙等、年齢に応じたさまざまな道具をつかい、こいのほいを制作します。

音楽あそび

音を聞いて身体を動かし、表現すること(リトミック)を楽しみます。

○公認心理師の来所日

1日(水)、10日(金)、18日(土)、24日(金)

○言語聴覚士の来所日

2日(木)、8日(水)、15日(水)、17日(金)、18日(土)、22日(水)、23日(木)、27日(月)、28日(火)、30日(木)、31日(金)

○理学療法士の来所日

1日(水)、7日(火)、14日(火)、16日(木)、20日(月)

○作業療法士の来所日

13日(月)、21日(火)、29日(水)



～体育と運動～

緑がきれいで、さわやかな季節となりました。身体を動かすのにもよい季節です。さてみなさんは、子どものころ「体育」は好きでしたか？私は授業の内容によって“好き・嫌い”がはっきりとわかれていたように思いますが、多くの時間は楽しかった思い出として残っています。

2021年8月に、小学生とその保護者1200組を対象に行ったアンケートによると、好きな教科ランキングで体育は算数(20.0%)に次ぐ第2位(17.8%)であった一方、嫌いな教科でも第3位(7.7%)にランクインしています(ちなみに算数は嫌いな教科でも第1位です)。2013年以降この順位に変化はありませんが、1989年に実施された同様の調査では、好きな教科で「体育」は第1位、嫌いな教科では第8位でした。この25年間で授業内容は先生方や研究者の努力などによって、改善されてきたと思われませんが、嫌いな教科8位から3位へと苦手意識は増してしまっているようです。また、学年が上がるごとに体育嫌いの子どもの割合が増えているとされています。

体育嫌いな子どもの割合が増えている背景に、身体を動かして遊べる機会・環境の減少に加えて、より自分と他者を比較する傾向が強まっているということがあげられます。走るときも、ボールを投げるときも、跳るときも常に他者の視線にさらされていると感じることが、他教科と比べて「体育がきらい」という印象を残す一つの大きな原因であると考えられています。ただ知っておきたいのが「運動」と「体育」とは同じではないということです。私たちは同じものとしてとらえがちですが、実は心臓の鼓動、目の瞬き、朝起き上がる、目的地まで移動するなど、私たちの何気ない生活そのものが「運動」になります。つまり運動を、好きとか嫌いとかではなく、自然のものとして考えると苦手意識がやわらぐのではないのでしょうか。

運動には“きつい”、“苦しい”などのマイナスなイメージも先行しがちですが、私たちが無意識に呼吸するように、運動は私たちが生まれた時からつねに共にしているものと言えます。本来の「体育」は文字どおり“からだの教育”ということであり、自分の身体を知ること、健康を維持し、生活の質を高めることが目的です。そのため、「体育の授業が好きにならなくてもいい」という見方も大切なのかもしれません。落穂会でも、それぞれの子どものあった身体の動かし方を考え、子どもが身体を動かす楽しさに触れることができるよう支援していきたいと思えます。

理学療法士

樋口 聖士



おしらせとおねがい

- 1 土曜日の開所日について**
5月の土曜日は、4日(土)が祝日に伴い、5月18日と25日を開所日となっております。よろしくお願い致します。
- 2 就学前個別相談について**
就学前個別相談(対象:年長児)を5月9日(木)から5月22日(水)の期間に実施いたします。詳細の日時についてはコドモンにて、お知らせさせていただきます。日程に関して、変更や不明点がある際は、職員へお伝えください。
- 3 おやつ代と実績記録表について**
毎月中旬に前月分のおやつ代の請求書をお渡しいたします。その際に実績記録表を確認していただき、保護者確認欄に捺印(欠席の記録の箇所にも捺印をお願い致します。)をお願いいたします。また、おやつ代はセルクに来所された際、職員に直接お渡しください。
- 4 受給者証について**
市役所より新しい受給者証が届きましたら、確認や記入が必要となりますので、セルクへご持参ください。